

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・食育人材バンク派遣事業の派遣申請が増加、講師登録も86個人・団体に増加し、食育が県民に浸透してきている。派遣の際、食事マナーについての取り組みを実施しており、食のマナーアップにも一定の効果があつた。 ・栄養教諭や学校栄養職員が、給食時間をはじめ授業等の教育活動全体で児童生徒に対し、「朝食の重要性」や「バランスのよい食事」等の食育指導を行った。その他にも、給食試食会や親子料理教室の開催、朝食レシピの提案等、家庭への啓発活動を積極的に行うことで、食育に対する理解を深めることができた。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生等による新商品開発コンテストや地産地消川柳展の実施などにより、県民への地産地消の意識啓発が図られつつある。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・大勢の人たちで食事を楽しむイベント「ロングテーブル2016」を、大分市、玖珠町、豊後大野市の3市町で同時開催した。子どもと高齢者との世代を超えた交流ができただけでなく、コミュニケーションを図りながら一緒に食べる楽しさやおいしさを実感することにより、食育に対する理解が進んだ。 ・6月の「食育月間」と11月の「おおいた食育ウィーク」期間に大分駅前や各保健所単位で街頭啓発等を行い、広く県民に食育の普及啓発を行った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(28年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	29年度の方向性	
①②③	おおいたの食育推進事業	21,841	A	継続・見直し	88
②	おおいた味力発信・地産地消推進事業	15,667	A	継続・見直し	170

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第1回大分県食育推進会議 (H28.6)</p> <p>・一方的にボールを投げるのではなく、必ずそれをキャッチするやりとり。そして、やるからには基本教育をしっかりして継続すること。この継続がなかったら一過性のものですべて終わってしまうので数字目標だけでなく実践を是非していただきたい。</p>	<p>○第2回大分県食育推進会議 (H29.2)</p> <p>・食育が大事なのは分かるが、なかなか実行に移せないところがある。先日も給食を食べながら栄養士の話聞き、勉強になった。このような会に参加すればするほど食育が自分に身について、他市町村の母親達にも伝えていけるかと思っている。</p>
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭を中心として、朝食摂取の必要性を引き続き啓発するとともに、児童生徒の肥満予防や食習慣、生活習慣の改善等に向けた取り組みを促進する。 ・県下で食育活動を実践している食育活動者の掘り起こしをさらに進め、食育人材バンクの講師を増やすことで、地域の特性を生かした食生活や伝統的な食文化の伝承と発展に取り組む。 ・食育推進条例の理念に基づき、関係機関・団体との連携を強化しながら、ロングテーブル等の食育イベント、街頭キャンペーンやSNSの活用などにより、食育の普及啓発を図っていく。 ・食育に必要な「6つの力」を習得するための副読本を作成し、子ども世代への定着を図っていく。 ・H30年度に大分県で開催予定の食育推進全国大会を契機として、食育の大切さをこれまで以上に情報発信する。